

# 新お茶の水女子大学名誉博士誕生

本学では、このたびフリーヤ・カラビラス・リジョ博士と深井晃子教授へお茶の水女子大学名誉博士称号を授与いたしました。カラビラス博士は4人目、深井教授は5人目の本学名誉博士となります。各名誉博士のご紹介をいたします。

## フリーヤ・カラビラス・リジョ博士

室 伏 きみ子 (理事・副学長)

フリーヤ・カラビラス・リジョ博士（メキシコ国立自治大学教授）は、地球環境の保全と貧困の克服という学術的・社会的な活動を高く評価され、第12回花の万博記念「コスモス国際賞」を受賞なさいました。研究者として、また政治家としての博士の活動は、開発途上国を中心とした世界中の国々から尊敬を集めています。特に若者たちは、博士のスケールの大きな生き方に啓発され、そこから多くを学び、自らの生き方を考える大きなよすがとすることでしょう。本学の学生や生徒たちにとっても、博士は素晴らしい役割モデルとなって下さることと信じます。博士の来日を機に、10月25日に、本学から名誉博士称号を授与し、本学講堂において「コスモス国際賞」受賞を記念してのご講

演をいただきました。附属の生徒たちや一般の方々も大勢参加して下さい、参加者は800名を数えました。聴衆はそれぞれに、感激と新たな希望をいただいて、帰途についたことでしょう。



## 深井晃子教授

徳 井 淑 子 (生活科学部教授)

深井晃子氏は、本学の旧家政学部被服学科を卒業および大学院を修了後、昭和54年から京都服飾文化研究財団のキュレーターとして服飾遺品の収集と展覧会企画に当たり、ファッション文化の啓蒙活動を行ってこられました。京都国立近代美術館における「浪漫衣裳展」「華麗な革命」展から近年の「身体の夢」「ファッションと色彩」展まで、創造性あふれる企画展を手掛け、特に平成6年の「モードのジャポニスム」展はその後パリ、ロサンゼルス、ニューヨークの美術館を巡回し、国際的に高い評価を得ました。海外の美術館との共同監修による展覧会は、日本のファッション文化とその研究や行政を海外に知らしめたばかりか、国際的にも服飾文化の向上に貢献しました。内外の各種

メディアにおける評論活動はもとより、学界においても美術・デザイン・比較文化論に新しい領域を拓くものとして注目され、現在は静岡文化芸術大学大学院教授としても活躍されています。



### お知らせ

深井晃子氏の名誉博士称号授与記念講演会を、平成17年2月1日(火) 15:30~17:00にお茶の水女子大学共通講義棟1号館301教室にて開催いたします。一般の方の参加も歓迎します。